



鎌倉市

通学路

安全点検

HANDBOOK

令和2年度策定

市民安全課

はじめに

鎌倉市では、平成 20 年に鎌倉市スクールゾーン等交通安全対策協議会を設置し、学校、PTA（校外委員）、教育委員会、警察、県や市の道路管理者等の関係機関と連携して、通学路合同点検を実施して通学路の安全確保に努めております。

最近では、令和元年 5 月に滋賀県大津市において園児が犠牲となる痛ましい事故が発生し、このような事故で尊い命を二度と失わないためにも地域の皆様と行政がひとつになって取組をより強力に推進していきたいと考えています。

本書がその日頃の活動のご参考になれば幸いです。

ご存じですか？

鎌倉市では、スクールゾーン等交通安全対策協議会が保護者や地域の方と協力しながら様々な活動を展開し、子どもを交通事故から守っています。

その活動のひとつとして、多くの小学校で子どもたちの通学路の安全点検を行っていただいています。

実際に通学路を歩いてみて交通環境などを確認することは、子どもの安全に直接結びつくことで大きな効果が期待されます。

【子どもの特性のポイント】

まず、発育途中の子どもの特性を十分に理解しておくことが必要になります。

- ①ひとつのものに注意が向くと、周りのものが目に入らない。
- ②その時々気分によって、行動が変わる。
- ③「あぶない」などのあいまいな言葉は、理解できない。
- ④大人をまねる。
- ⑤子どもの視野は大人より狭い。



【通学路点検手順のポイント】

安全施設 (ex.標識、ガードレールなど) の破損や劣化箇所の洗い出しというハード面の改善は大切ですが、「子どもたちの危険を回避するためにはどうしたらよいか」という視点で確認していくことが重要です。

- ①点検項目・順路の確認 (点検時間を短く、負担のないように)
- ②点検中の服装 (動きやすく、目立つ服装で)
- ③点検時間 (子どもの登下校時を想定)
- ④子ども目線での点検 (少し低い目線で)
- ⑤子どもの通学順路 (実際の通学していく順路で)
- ⑥安全施設の点検 (破損や見えにくいなどの不具合を確認)

対策事例

外側線	最高速度	横断歩道	グリーンベルト	カラー交差点
市役所 道路課	警察署 交通課	警察署 交通課	市役所 市民安全課 道路課	市役所 市民安全課 道路課
止まれ	速度おとせ	スクールゾーン・ ガードレール	路面シート	交通標識
警察署 交通課	市役所 道路課	市役所 市民安全課 道路課	市役所 市民安全課	警察署 交通課